

三菱インバータ セールスとサービス

No. 1 4 0 - A

汎用インバータ FREQROL-E500 シリーズ バージョンアップのお知らせ 操作性改善，仕様変更ならびに追加

平素より弊社汎用インバータをご愛顧賜り，厚く御礼申し上げます。
FREQROL-E500 シリーズにて，より使い易さの向上を図るために操作性を改善し，さらに仕様変更ならびに追加をしてバージョンアップをしましたのでお知らせします。

1. 対象機種

FR-E520-0.1K~3.7K (3相 200V 入力)

FR-E520S-0.1K~0.75K (単相 200V 入力)

(FR-E520-5.5K, 7.5K は発売時よりバージョンアップ品となっています。)

2. 製品切替時期

1998年6月工場生産分より実施します。

3. 操作性改善内容

運転モード選択 Pr.79 の変更

No	変更前	変更後	備考
1	工場出荷状態 (Pr.79=0) で電源投入時 PU 運転モードになります。	Pr.79=1 (PU 運転モード) を工場出荷にし，Pr.79=0 の場合は電源投入で外部運転にします。	FR-A024 は電源投入時は外部運転モードになります。FR-U100 は運転モード切替はありません。
2	Pr.79=3 (外部/PU 併用運転モード) で内蔵周波数設定ボリュームにて周波数を設定するときは多段速指令は無効となっています。	Pr.79=3 (外部/PU 併用運転モード) で内蔵周波数設定ボリュームにて周波数を設定するときでも多段速指令を有効とします。	現状はキーによるデジタル周波数設定時のみ有効です。

操作パネルのボリュームと キー切換の変更

No	変更前	変更後	備考								
3	内蔵周波数設定ボリュームによる周波数設定は，キーによる周波数設定が 0Hz のときに有効となります。(ボリュームによる周波数設定にて運転中にキーを押すと，デジタル周波数設定に切り換わり，ボリュームによる周波数設定は無効となります。)	Pr.146 を追加し，設定値により内蔵周波数設定ボリュームによる周波数設定と，キーによるデジタル周波数設定を切換えます。 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <tr> <td>Pr.146 設定値</td> <td>周波数設定指令</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>内蔵周波数設定ボリューム</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>キーによるデジタル設定</td> </tr> <tr> <td>9999</td> <td>バージョンアップ以前と同じ</td> </tr> </table> 工場出荷設定は 0 です	Pr.146 設定値	周波数設定指令	0	内蔵周波数設定ボリューム	1	キーによるデジタル設定	9999	バージョンアップ以前と同じ	現状はキーによるデジタル周波数設定に移行した後，内蔵周波数設定ボリュームによる周波数設定に戻すには，一旦運転を停止させてからデジタル周波数設定を 0Hz にし，正転信号 STF (または逆転信号 STR) を再投入するか，RUN キーを押す必要があります。
Pr.146 設定値	周波数設定指令										
0	内蔵周波数設定ボリューム										
1	キーによるデジタル設定										
9999	バージョンアップ以前と同じ										

発行
日付

1998年6月

件
名

汎用インバータ FREQROL-E500
シリーズバージョンアップ
のお知らせ

三菱電機株式会社名古屋製作所

〒461-8670 名古屋市東区矢田南 5-1-14 (052)721-2111 大代表

4. 仕様変更ならびに追加

地絡保護機能の追加

No	変更前	変更後	備考
4	地絡保護機能はなし	Pr.249を追加し始動時地絡保護あり・なしを設定可能とします。工場出荷時設定はなし(Pr.249=0), Pr.249=1に設定するとあり	始動時地絡検出ありにすると毎回起動時20msの起動遅れがあります。

アラームランプの追加

No	変更前	変更後	備考
5	操作パネルを取り外すとPOWERランプはあるが、ALARMランプがない	ALARMランプを追加し、操作パネル取り外し時にはPOWER,ALARMランプ両方あり	FR-A024はPOWER,ALARM共あり

操作パネルケーブルの最大配線長の改善

No	変更前	変更後
6	配線長の制限は5mまで内蔵周波数設定ボリュームの再校正が必要です。	配線長の制限は20mまで内蔵周波数設定ボリュームの再校正は不要です。

操作パネルの運転状態表示の改善

No	変更前	変更後
7	運転状態表示のRUNが正転時、逆転時に点滅します。	運転状態表示のRUNが正転時は点灯、逆転時は点滅します。

5. バージョンアップ品切替時の注意事項

バージョンアップしたインバータはバージョンアップした操作パネルとの組合せ以外では、機能しません。

	操作パネル(旧)	操作パネル(新)	備考
インバータ(旧)		×	: 正常動作 × : 内蔵周波数設定ボリュームが機能せず
インバータ(新)	×		

(注) インバータ(旧)のパラメータをパラメータユニットPU04に読み込み、インバータ(新)にコピーすると旧のままコピーされます。
新規追加パラメータ Pr.146は9999(操作性仕様改善前), Pr.249は0(始動時地絡検出なし)になり自動的に仕様変更前に設定されます。

6. バージョンアップ品の識別方法

バージョンアップ品は、インバータ本体の定格名板および梱包の名板に記載されている SERIAL(製造番号)が下記の記号以降となります。

(梱包名板の SERIAL(製造番号)はインバータ本体の定格名板の SERIAL(製造番号)9文字のうち上位6文字を表示します。)

形式	SERIAL(製造番号)
FR-E520-0.1K~0.4K	A 8 6
FR-E520-0.75K	A 8 6
FR-E520-1.5K~2.2K	A 8 6
FR-E520-3.7K	A 8 6
FR-E520S-0.1K~0.75K	A 8 6

A 8 6
記号 年 月 管理番号
SERIAL(製造番号)

インバータ本体の定格名板に記載されている SERIAL(製造番号)はこのように記号(アルファベット)1文字と製造年月2文字、管理番号6文字で構成されています。

また、梱包名板の寸法が次のように変更されます。

変更前	変更後

7. 操作パネルの識別方法

操作パネルは以下で識別します。

	操作パネル(旧)	操作パネル(新)
操作パネル本体	形名表示はなし	LED部にPA02とシルク印刷文字を追加します

・操作パネル表面カバーを開けると上記文字が見えます。

操作パネルの表面カバーを開けた状態

